

エピソード

砂場で砂を掘っていた A くと B ちゃんが「宝物いっぱいできてきた」と砂の中にある石をたくさん見つけました。見つけた石をザルに入れて水で洗い、バケツに入れています。保育者が「すぐたくさん宝物見つけたね」と言うと、「きれいに洗ってる!」「こんなにあるよ!」と嬉しそうに見せました。保育者のそばで見ていた C くんはそれを見て「うわあ」とたくさんの石を見て驚いている様子。A くん B ちゃんが「C くんも一緒にしよう」と誘うと、C くんも砂を掘って、石を見つけてきました。

保育者が「どれくらいあるんだろうね」と問いかけると、A くんは「こんなにたくさん数えられない」と言いました。「ほんとだね。どうやったら数えられるだろう」と広い園庭の方に視線を向けながら問いかけてみると…「並べてみる!」と A くん。一緒に遊んでいた子どもたちも、「まだある!」「長くなってきた」と話しながら並べます。A くんは並んだ石を「19、20…45、46…75、76…80!こんなにあった」と満足そうに数えました。それを見て、「長いね!」と C くんも嬉しそうに話しました。

子どもの育ちや学び

- ① 砂を掘るとどんどん出てくる石に驚いたり、喜んだりして友達と一緒にほる楽しさを感じています。



- ② 「どれくらいあるんだろうね」という保育者の言葉がきっかけとなり、数える為の方法を思いつきました。



- ③ 並べるという目的をもって何回も行き来をしながら友達と一緒に並べています。



長さを見て、視覚から量の多さに、気付いています。

石を指でさしながら、声に出して数えています。

保育者の思い

- ・砂場で見つけた石を“宝物”と表現し、友達と一緒に集めている姿を見守りたいと思いました。
- ・A くんも遊びに参加し楽しさを感じてほしいと思見守りました。
- ・たくさんの石の量を知る方法を考え、試してほしいと思いました。

家庭だったら

子ども達にとっては砂場にある石も“宝物”なんですね。たくさんの石を数えるのは大変ですが並べることを思いついたり、数を長さで感じたりと子どもたちなりの発想がありました。お家でも子ども達なりの発想を見つけてみてください。